

専大校友を訪ねて

ワイド版



小野塚彩那さん

(平22商)

ソチ五輪スキーフリースタイル・女子ハーフパイプ銅メダル
石打丸山クラブ

世界への扉があいたと直感した。2011年4月、ソチ五輪の種目にHPの採用が決定。迷わず転向を決めた。同じHPでもスノーボードより競技人口は少ない。地元の新潟・石打丸山スキー場

ソチ五輪スキーフリースタイル・女子ハーフパイプ(HP)で銅メダルに輝き、専大スキー部出身者で初のメダリストとなった小野塚彩那さん(平22商)が、母校で歓喜に包まれた。アルペンから新種目のHPに転向し、競技歴2年半での快挙。スキー部OB会「鳳雪会」(篠原満也会長=昭38商経)が主催する祝賀会が6月27日、神田キャンパスで開催された。



拍手賛辞 感謝 そして 歓喜

ソチ五輪

小野塚さん祝賀会 銅メダリスト

メダル獲得から約4カ月、待ちに待った祝賀の宴は発起人代表3人のあいさつでスタート。「持ち前のスピードと高さを磨き、次の韓国・平昌五輪では表彰台の一番上にと「鳳雪会」の篠原会長が激励したのに続き、甘竹秀雄校友会会長、古田達男体育会OB会長もエールを送った。ソチ五輪の期間中、視察に行ったという馳浩校友会顧問(昭59文)は「気温が高く、雪質の変化に対応するのが難しかったのでは。女性アスリートがトップレベルで競技を

続けるのは大変なこと」とねぎらった。「自分の道を切り開き、世界で戦った開拓者精神は創立者と同じくらいパワーがある」と日高義博理事長が賛辞を贈り、祝賀ムードが高まるなか、高野雅夫校友会長の発声で乾杯。スキー部の佐々木貞昭監督(昭41経済)、竹本達廣部長(商学部教授)ら約120人から小野塚さんに盛大な拍手が送られた。会場には、秋田県由利本荘市から駆けつけたス

悔しさと練習の先に自信が

理と親にも言われませんでした。マイナー競技で支援もない。収入が不安定になると心配されました。旧知のトレーナーとスキーマンがバックアップにつき、新たな練習メニューに黙々と取り組んだ。アルバイトをし、自費で海外に遠征する姿は地元後援会の立ち上げにつながる。HPのコーチに指導を仰ぎ、12月にはワールドカップに初参戦。36人中35位で「悔しくてめっちゃ練習しました」。翌年には表彰台に上った。

アルペン選手にとって、コースを横に滑り、壁をせり上げて宙に舞うHPには恐怖心がつきまとう。恐怖心はなかったが回転には不慣れ。大技はないし、ほかの選手に比べ回転数も少ないですが、エアの高さには自信があります。ソチ五輪でもコースを飛び出すのではとハラハラさせる高いエアで、予選4位からメダルももぎ取った。五輪の一番でも全然緊張しなかったと言いつつ、やるべきトレーニングをこなし、五輪での順位争いも織り込み済み。信頼できるスタッフとのチームワークがメダルを取れた要因と語る。根底にあるのは「スキーの技術は私が一番」という揺るがぬ自信だ。

有言実行、マイペース。団体行動が苦手な専大在学中の寮生活は良い社会経験だったと苦笑する。納得できないことは受け入れられず、先輩と議論になったことも。私は全てスキー中心。みんなすごく理解してくれたと思います。衝突もしたけれど先輩にはかわいが

ピンクの粉雪舞う



奄美の海でサンゴ産卵風景を撮影＝興克樹さん(平5文)

海がピンク色に染まった。鹿児島県奄美大島からサンゴの産卵を撮った写真が届いた。地元自然写真家、興克樹さん(平5文・スキングダイビングクラブ愛好会CORALのOB)9面に

るカプセルを一斉に放出するサポテンミドリイシなど3種のサンゴを撮影した。6月19日撮影。「バンドル」は直径約0.5ミリ。まるで粉雪のように波に揺られながらゆっくり浮上していく。「幻想的な命の営みに毎年感動しています」と興さん。

4年次の全日本学生選手権優勝。専大入学後に技術系スキーに取り組み、大学1年次の全日本技術選手権では初参加で3位に入り新人賞を受賞。2013年ワールドカップのフリースタイルHPの種目総合ランキング3位。158号、49号。

白化現象や豪雨で深刻なダメージを受けてきた奄美大島のサンゴの生息状況を、10年ほど前から調査している。サンゴは確実に回復傾向にありませんが、奄美の世界自然遺産登録への弾みにしたい。産卵は9月ごろまで続く。

泉久雄名誉教授 本学着任60周年を祝う
泉久雄名誉教授(元法学部教授)は、OG会「白水」が4月12日、川崎市宮前区の「とうふ屋うかい」で催され、全国各地から教員40人が駆け付けた。泉名誉教授が本学に着任したのは1954年。今年

代議員会を開催
6月14日、神田キャンパスで校友会代議員会が開催された。全国から代議員162人が出席(委今年度「事業計画(案)・予算(案)」が満場一致で承認された。

任状392人。台湾校友会から盧中庸元会長(昭23専政、校友会顧問)も参加した。議事は昨年度の「事業報告・決算報告・監査報告」と今年度「事業計画(案)・予算(案)」が満場一致で承認された。